

03-1 児童・保護者 教育活動振り返りのまとめ

	児童の振り返り	保護者の振り返り
学びづくり	○「学習のきまりを守る」、「話をしっかりと聞いている」は昨年度から上がっている。基本的な学習態度が身に付いている。 ○どの質問項目も3以上になり、学ぶことに関して児童の意識の高まりがみられる。 ○グループやペアでの話し合いはどの学年でも活発にできている。 ●「自分の考えを進んで発表」は、「そう思う」児童が多く出ているが、5, 6年生では手を挙げて発表する児童は下学年に比べて少ない。 ●家庭学習の充実が見られる。個人差もある。 ◇家庭学習において、個人差がある。宿題の出し方を工夫する必要がある。 ◇家庭においても読書をする時間を設定する必要がある。	○「授業が楽しく分かりやすいと言っている」が上がっている。授業改善の成果がでている。 ○「進んで書いたり説明したりしている」「読書」についても微増しており、取組の成果がでている。 ●児童なりに家庭学習に取り組んでいるが、個人差がある。 ●「図書室の本を家で読む」場面が、少ないようである。更に、充実させる必要がある。 ◇家庭で読書の時間を設定する等、家で図書室の本を読むよう機会をつくる等の工夫をする。 ◇家庭学習に関しては、個人差が大きい。児童が学習内容が定着し、主体的に学ぶ態度が身に付くよう工夫する。
心づくり	○昨年度と比べて、5つの項目中、5つすべてプラスだった。 ○「友だちとなかよく生活している」「係の仕事や掃除をいっしょうけんめいに行っている」が、とてもよく伸びている。好ましい傾向が増えている。 ●「あいさつ」の項目は、2（あまりそう思わない）と答えた児童が31名いた。 ◇「だれにでも」地域の方にも元気よくあいさつができるようくり返し指導し、意識を高めていく。	○昨年度と比べて、5つの項目中、4つの項目がプラスだった。全て3以上で好ましい傾向になる。 ●「だれにでもあいさつしている」が低い傾向にある。 ●「学校は、いじめや差別をなくす取組を行っている。」の項目で無回答が多かった。 ◇新年度も班長を中心に気持ちのいいあいさつができるように、よくできている班を下校集会などで発表して、認め励まして意欲を高めていく。 ◇学校・学級での取組を通信等でお知らせしたり、学級懇談会で話題にしたりする。
健康づくり	○登下校に関しては、ほぼルールを守り安全な登下校ができている。 ●「給食を残さず食べている」が3.78に対して、保護者の振り返りでは、「好き嫌いなく食べている」が2.96と差がある。 ●帰宅後の自転車の乗り方、例えば、ヘルメット着用や一旦停止等は、課題が多いように思われる。 ◇今後も学校と家庭と連携して、食に関する指導の充実を図っていく。 ◇ヘルメット着用や一旦停止について今後も学校でも指導していく。	●テレビやゲームの時間を考えた生活ができていない児童が多い。朝も決まった時刻に起きることができないのは、テレビやゲームの影響も大きいと思われる。 ●家庭において食事を好き嫌いなく食べていない児童が少なからずいる。 ◇テレビやゲームについては、家庭で約束事やルールを作ってもらうように学級懇談会等で依頼していく。 ◇今後も、学校において食に対する指導の充実に取り組んでいく。
信頼される学校づくり	○すべての項目において、児童は教師の指導を肯定的に受け止めている。 ○平成28年度からの経年変化を見ると、徐々に評価が上がっている。 ○「先生は、がんばってことをほめてくださる。」の項目は、ほぼ横ばいであるが、比較的高い数値である。 ◇今後も、児童に丁寧に、きめ細かい指導を行い、児童にとって温かい心の居場所であり、児童一人一人の資質・能力が伸び、生き生きと輝く学校づくりに取り組んでいく。	○すべての項目において、少しずつ評価が上がっている。 ○児童の安全と事故防止の取組に関して高い評価をいただいている。 ◇今後も、児童の安全を守るため、地域と連携して、児童の事故防止に取り組んでいく。 ◇よりよい教育指導、学校環境美化、差別やいじめの防止等、今後も教職員一丸となって取り組んでいく。